



10

1 丁寧な指導のもと、技術力を身に付けられる職場環境。地域の人々の暮らしを守り地域に貢献していることを強く実感できる
2 目視や触診、打音等で橋梁点検を行う
3 オオサンショウウオや魚類調査等の生物調査も行う 4 地盤調査チームによるボーリング調査の様子 5 砂防関係施設点検の様子 6 地質調査現場試験の様子。土質試験は現場から室内まで網羅している
7 トンネルの躯体、内部照明、排水等設備の損傷や異常を点検する 8 UAV高解像度カメラを搭載したドローンによる広範囲かつ正確な測量も可能だ 9 3Dモデルを活用した工事シミュレーション 10 今出上社長。2023年2月より代表取締役社長に就任。社員のキャリアアップに力を入れ、技術力と人間力の育成に注力。時代に即した業務体制を整えている



7



8



9



2



5



3



6



4



1

点検、地質調査、環境調査など多岐にわたる。近年、測量・建設分野におけるICT化が加速する中、同社では最先端技術の導入を積極的に推進し、社内でICT専門のチームを設置。3次元BIM/CIIMといった、建設DXにもいち早く取り組んでいる。2020年に西日本で初めて、水陸両方の地形計測が可能で「グリーンレーザースキャナー」を導入し、現在はドローン13機を保有する。さらに積極的な設備投資を続け、2025年11月には最新モデルのドローンを導入予定だ。こうしたICTを活用した高い技術力により、県内外のゼネコンや大手建設コンサルタントからの依頼も多く、河川改修や災害復旧、港湾・海岸整備など、新たな市場を切り拓いている。

社内には、測量・設計のほか、「地質」「環境」「建設工事」それぞれの分野に専門家が在籍し、分野同士の連携による「総合力」で、社会資本整備の多様なニーズに柔軟に対応している。また、最新の分析機器を自社で保有している点も同社の強みの一つ。21年に竣工した本社新社屋には、地質や土質に関する試験室を6室、環境調査用の試験室を14室設置し、本社と鳥取支店それぞれで精度の高い調査・解析を自社内で完結できる環境を備えている。

専門分野の総合力で多様なニーズに対応

鳥取・島根を拠点に、総合建設コンサルタントとして幅広く事業を展開する《エスジーズ》。1976年に創業し、社名に込められた「すごい・GII技術者・SII集団」という意味の通り、グローバルに活躍できる技術者集団を目指している。事業領域は、道路や河川など公共工事の測量や設計のほか、インフラ

技術力の向上と社員の幸せを柱に最新技術で地域の安心を築く

測量・設計から環境・地質調査まで幅広く担い、地域インフラを支える《エスジーズ》。最先端技術の導入や社員の育成にも注力し、技術力と人間力の両面で「すごい技術者集団」を目指している。

株式会社 エスジーズ

創 業 昭和51 (1976) 年5月12日
代表者 代表取締役社長 今出 上
社員数 125名 (男93名 女32名)
本 社 鳥取県米子市東山町8-1

事業内容

建設コンサルタント、測量業、地質調査業、環境調査、補償コンサルタント、土質試験、計量証明事業（濃度・騒音振動）、土壌汚染指定調査機関、作業環境測定機関、一般建設業

勤務地(採用エリア)

米子市、鳥取市

採用区分

新卒採用

キャリア採用

インターンシップ・キャリア

有 短期のインターンは随時受け付け。詳細や申込は問い合わせ先より。

採用担当者からあなたへ

私たちは「環境が変われば自分が変わり、そして会社が変わっていく」の理念で常に変革に挑戦し続けています。一緒に目標に向かって意欲的にチャレンジしたい方を求めています。



取締役 総務統括
豊島 康宏さん

採用に関するお問い合わせ先

0859-32-3308

公式サイトは
こちら



社内にある試験室。建設コンサルタント業では分析を外部に委託するところが多いが、本格的な分析室を自社で保有している点も同社の特徴の一つだ

挑戦から生まれるイノベーション

社内では、「技術向上委員会」や「仕事のやり方改革委員会」をはじめとする5つの委員会を設置し、社員の声を反映しながら、組織全体の底上げを図っている。また、2025年からは新たに3か年計画が始動し、スローガンを「チャレンジ・トゥ・イノベーション」革新への挑戦」と掲げた。「私たちの仕事は地域の安全・安心を支えていくこと。現状に満足することなく、新たな価値を創造し、社員一人一人が挑戦を通じて成長することで、企業としてのさらなる飛躍を目指したい」。そう語るの代表取締役社長の今出上氏。社員の成長が会社の未来につながるという考えのもと、技

技術力向上のためには
社員の幸せが不可欠

術力の向上、業績の拡大、そして多様化する要望に応えられる「強い会社」づくりを進めていく方針である。この計画では、会社全体としての目標はもとより、社員個人に対しても資格取得などの目標設定を促し、その達成に向けた支援体制も整えている。新入社員には、同社独自の「BS制度」を設け、年齢の近い先輩社員が2年間にわたって業務面・精神面の両面から成長をサポートする。「技術力向上の前提には、社員の幸せが不可欠です。健康面や物心両面における処遇改善にも配慮し、誰もが安心して働ける職場環境をつくっていきます」と今出社長。同社は2026年、創立50周年を迎える。地域に寄り添い未来を見据えながら、その確かな歩みは着実に次の時代へとつながっている。



「令和7年度 国土交通功労者表彰」 団体及び技術者部門でW受賞！

国土交通省中国地方整備局が優れた仕事を行った団体や技術者をたたえる「国土交通功労者表彰」において、中国地方整備局長から同社は“優良業務履行団体表彰”を、業務担当者は“優秀建設技術者表彰”を受賞し、国の機関から実績を高く評価された。

若手3人に聞く、エスジーズの魅力とこれから

ものづくりの第一歩となる測量という仕事にやりがい

生田さんは鳥取県米子市出身。大学では水質や土質に関する知識を学び、在学中にドローンの資格を取得した。地元でそのスキルを生かせる企業を志望し、複数の企業でインターンシップを経験。エスジーズには2度参加し、それぞれ異なるチームで業務を体験した。「エスジーズは若手社員が多く、社員同士が話しやすい雰囲気でした。職場の空気が自分に合っていると感じたことが、入社を決めた理由です」と語る。

現在は、現場計測業務に加え、計測データの解析などを行い、ドローンの資格も生

かせている様子。「経験はまだ浅いですが、ものづくりの第一歩となる測量という仕事にやりがいを感じています」と話す。

「社員の年代は幅広いですが、上司や先輩とのコミュニケーションが取りやすく、働きやすい環境。今は先輩に測量機器やソフトの操作を教わりながら補助的な役割を担っていますが、将来的には自分が主導して作業を進められるようになりたい。そのためにも、まずは必要な資格取得にしっかり取り組んでいきます」と、今後への意欲を見せている。



ICT測量チーム
生田 隼規さん(23)
2025年入社

働きやすい環境の中で、測量のプロを目指して

地元の高校で土木を専攻していた仲田さん。エスジーズを知ったのは、父親が知人から同社の評判を聞き、勧めてくれたのがきっかけ。在学中に業務内容を調べたり先輩社員の声に触れ「ここだ」と直感し、迷うことなく面接に臨んだ。

現在はICT測量チームの一員として、現場での測量作業やデータ解析などを行っている。「測量は奥の深い仕事。学生時代にある程度の知識は得ましたが、まだまだ学ぶことが多く、日々勉強中です」と語る。

職場の魅力は、社員同士の風通しの良さ。

「父から聞いた通り、働きやすくて良い会社。先輩方も親切で、自分で考え行動したことを認めてもらえた時には、やりがいを感じます。毎週水曜日はノー残業デーですが、少しでも残ろうとすると、上司が“早く帰れ”と声をかけてくれるので気兼ねなく退勤できる。おかげでプライベートの時間も大切にできています」と笑顔を見せる。

現在は測量士補の資格取得に向けて勉強中。「将来的には自分が責任者として現場を担い、報告書までしっかり作成できるようにになりたい」



ICT測量チーム
仲田 空さん(19)
2024年入社

現場のプロジェクトリーダーとして成長中

高校時代に得意だった数学を生かせる仕事がしたいと考え、測量の道へと進んだ。入社5年目となる現在は、土木設計や構造物の点検業務などに従事している。最近では、砂防施設の点検業務で初めてプロジェクトリーダーを任せられ、発注者との打ち合わせや現場調整なども行っている。時には川や山中に入ることもあり、体力的に大変な場面もあるが、やりがいを感じながら取り組んでいると語る。「専門知識が求められる仕事なので、マニュアルを読み込んで理解し、実務に生かす力が身に付いた。構造物

に必要な材料の数量を計算する場面では、得意だった数学が役立っていると感じます」会社の魅力は、社員同士の仲の良さにもある。「仕事について気軽に相談できる人が多く、楽しく仕事に向き合っている」と笑顔を見せる。休日は友人と出かけたり、小学生の妹さんの遊び相手になって過ごすことが多いという坂上さん。「若手も多い会社なので、自分が後輩を引っ張っていけるようなスキルを身に付けたいです」と話し、業務でもプライベートでも面倒見の良さがうかがえる。



調査設計チーム
坂上 翔真さん(22)
2020年入社